

TESmert TESmart

ユーザー **4x3** HDMI KVM
スイッチ

マニュアル



HK50403A1U

To Enjoy Smart

HK50403A1U

日本語

TESmert TESmart

日本語

前書き

この度は弊社のKVMスイッチをお選びいただき、誠にありがとうございます。このユーザーマニュアルに、本製品の取り扱い方法と使用方法についてご説明致します。ご使用前に必ず本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。ご質問、ご意見、ご提案がある場合は、お手数ですが次のメールで弊社へご連絡ください。

support@tesmart.com.

著作権表示

本マニュアルは、Tesla Electronics Technology Co., Ltd. によって作成されたものであり、いかなる個人または組織も、書面による許可なしに複製または翻訳することはできません。このマニュアルは、いかなる形式または手段（電子的、機械的、コピーまたは記録など）であれ、商品取引に使用したり、商業行為や営利活動に使用したりしてはなりません。このマニュアルで採用されている商号およびブランド名の所有権は弊社に帰属します。

目次

1. 安全のヒントと警告	01	9.4 L/RオーディオおよびUSBフォーカス機能のロック	
2. バッテリーの説明	02	9.5 オートスキャンモードの説明	
3. 保証情報	03	10. 操作方法	24
4. 序文	04	10.1 フロントパネルのボタンで切り替え方法	
5. 特徴	05	10.2 赤外線リモコン	
6. パッケージ内容	06	10.3 キーボードのホットキー	
7. パネルの説明	07	11. ホットキーの組み合わせの変更	35
8. 接続説明	10	12. パススルーモードの説明	36
8.1 接続図		12.1 パススルーモードの紹介	
8.2 接続準備		12.2 キーボードとマウスの互換性チャート	
8.3 接続手順			
8.4 KVMワークベンチ			
9. 機能説明	17		
9.1 表示モードの説明			
9.2 内蔵充電モジュール			
9.3 内蔵ネットワークスイッチ			

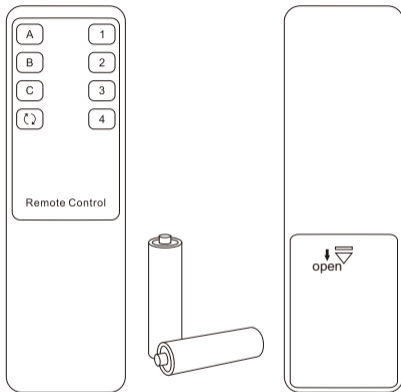
1. 安全上のヒントと警告

ヒント:ご使用の前に、KVMスイッチの安全上のヒントと警告をよくお読みください。

製品への不必要な損傷やユーザーへの潜在的な危険を防ぐために、下記の指示、安全上ののヒント、および警告に従ってこの製品を使用してください。

- ⚠ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ⚠ から遠ざけてください。
- ⚠ 指示に従って製品を使用し、通気口を塞がないでください。
- ⚠ 製品を、ヒートシンク、蓄熱器、ストーブパイプ、その他の熱発生装置 (オーディオアンプを含む) などの発火源から遠ざけてください。
- ⚠ 感電や製品の損傷を防ぐため、濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。製品を濡らしたり、湿らせたりしないでください。
- ⚠ 雷が鳴っているや長時間使用しないときは、本製品をコンセントから抜いてください。
- ⚠ この製品とそのバッテリーを直火や過度の熱にさらさないでください。指示に従って廃棄物バッテリーを処理してください。
- ⚠ 許可なく製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。

2. バッテリー説明



ヒット:一部の宅配会社の安全要件により、リモコンにはデフォルトでバッテリーが装備されていないため、使用前に乾電池を取り付けてから使用してください

注意: リチウム電池の不適切な処理は爆発の原因となる可能性があります。電池を火に投げ込まないでください。電池は子供の手の届かない場所に保管してください。廃棄電池は地域の規制に従って処理してください。



3. 保証規定

当社は、出荷日から1年間、この製品が材料や加工に瑕疵がないことを保証します。保証期間中に通常の使用においてこの製品が不具合がある場合は、当社はこの製品を修理または交換します。ただし、この製品が機械的な乱用、電氣的な問題、その他の悪用や改造を受けていないことが条件です。また、保証対象外の状況で故障した場合は、修理にかかる部品および労働の現行価格により修理を行います。このような修理は再出荷日から6ヶ月間保証されます。

4. 序文

お客様、

HDMI KVMスイッチは、クロスプラットフォームのコンピュータデバイスを簡単に統合し、デバイスの管理を大幅に簡略化できます。トリプルディスプレイのマルチメディアワークステーションを管理するサポートがあります。同じPCの3つのHDMIポートをKVMの1組の入力ポートに接続すると、3画面の拡張ディスプレイまたはディスプレイの複製が実現できます。これは、PCを直接3つのディスプレイに接続するのと同じ効果があります。KVMはまた、3つのモニターに異なるPCを表示するサポートも提供しています。このKVMは、USB 3.0ポートをサポートしており、超高速データ転送レートを備えています。フロントパネルには、USBデータ転送ポートとして使用できるUSB-CポートとUSB-Aポートが1つずつあり、また、電話やタブレットなどを充電するためにも使用できます。L/RオーディオとUSB 3.0デバイスを固定したPCにロックするサポートも提供しています。複数の切り替えモードをサポートしており、フロントパネルのキーパッド、IR信号、およびキーボードのホットキーで入力ポートを切り替えることができます。同時に、各入力ポートにはEDIDエミュレータがあり、PCが常に正しい表示情報を持っているようにします。

ヒント: より多くのデバイスを制御したり、より複雑で専門的な切り替えを行う必要がある場合は、弊社の他の製品を選択することもできます。詳細については、公式ウェブサイト tesmart.jp をご覧ください。

5. 特徴

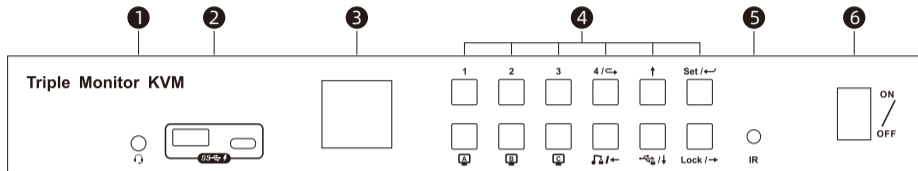
- 3つのモニターを使用し、1セットのキーボードとマウスで4つのコンピューターを制御できます。
 - 解像度は3840x2160 @ 60Hz 4:4:4までサポート。
 - HDMI2.0準拠。
 - HDCP2.2準拠。
 - HDR10およびDolby Visionをサポート。
 - 2つのディスプレイモードをサポート。Unix / Windows / Debian / Ubuntu / Fedora / MacOSX / Raspbian / Raspberry Pi用のUbuntuおよびその他のLinuxベースのシステムをサポート。
 - 統合されたマイクおよびL/Rオーディオ出力ポート。
 - スーパースピードデータ転送レートを持つUSB3.0ポートをサポート。
 - L/RオーディオとUSB3.0デバイスを固定PCにロックするサポート。
 - フロントパネルにUSB-CおよびUSB-Aポート1つずつ搭載し、これらはUSBデータ転送ポートとして使用でき、電話やタブレットなどの充電にも使用できます。
- 各入力ポートにEDIDエミュレーターを搭載しており、常に正しい表示情報を持つPCを保つことができます。
- 有線ネットワーク接続をサポートし、KVMに接続された4台のPCは、1本のネットワークケーブルでネットワークにアクセスできます。。
 - マウスとキーボードの互換性を向上させるためのキーボードおよびマウスのパススルーモードをサポート。
 - IR信号、フロントパネルのボタン、およびキーボードのホットキーを使用して入力ポートを切り替えるサポート。

6. パッキングリスト

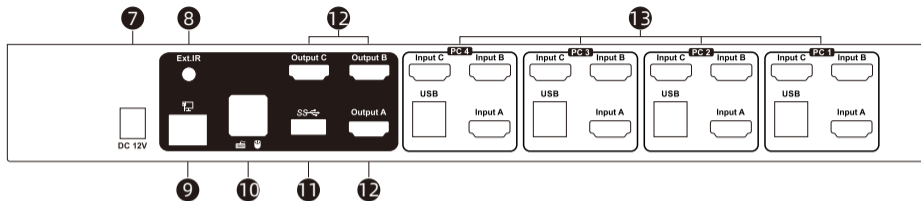
- 1 * 4x3 HDMI KVM スイッチ
- 4 * KVM ケーブル
- 8 * HDMI ケーブル
- 1 * 赤外線リモコン
- 1 * 赤外線延長ケーブル
- 1 * DC 12V 電源アダプター
- 1 * ユーザーマニュアル
- 2 * ラックイヤー

ヒント: 製品を受け取った後、パッキングリストを注意深くチェックして、輸送中に部品が紛失または破損していないことを確認してください。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

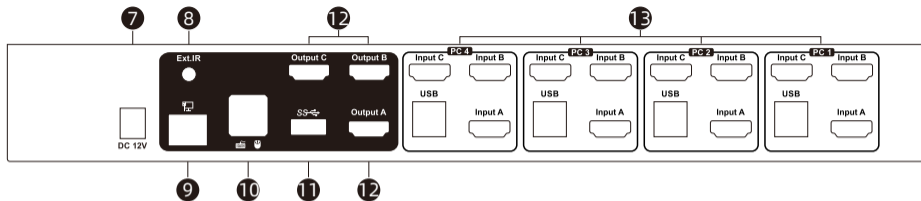
7. パネル説明



ID	名称	機能	ID	名称	機能
1	オーディオ統合ポート	マイクروفオンと左右のオーディオ出力を統合しました。	2	データ転送および充電ポート	モバイルデバイスのデータ転送や充電に使用できます。
3	カラー液晶	現在の状態と機能設定を表示します。	4	キーパッド	KVMを制御するために押ししてください。詳細は第10.1章を参照してください。
5	赤外線受信機	赤外線リモコン信号を受信します。	6	電源スイッチ	電源のオン・オフを切り替えます。



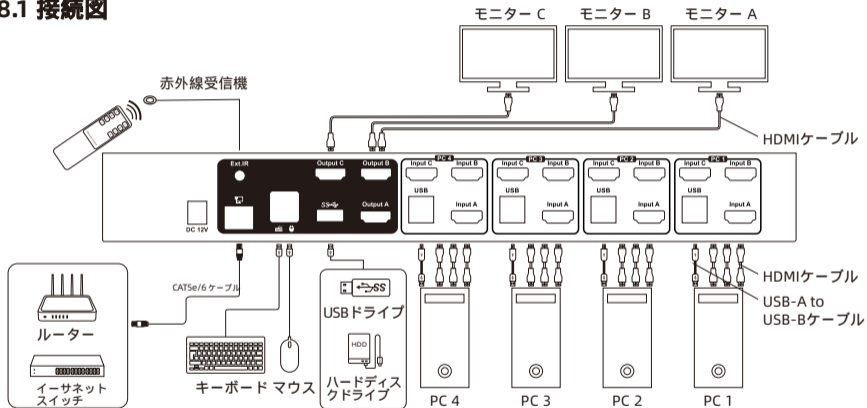
ID	名称	機能
7	DC 12V	12VDC電源供給。
8	IRエクステンション入力	このポートにIRエクステンションケーブルを接続すると、KVMがラックに取り付けられていても赤外線信号を受信できます。
9	LANポート	このポートにネットワークケーブルを挿入すると、4つの入力PCをローカルネットワークエリアに接続できます。
10	キーボードとマウスの入力	USBキーボードおよびマウスの入力用。



ID	名称	機能
11	USB3.0ポート	USB 3.0デバイスに接続します。
12	HDMI出力	ビデオ出力用に3つのHDMIディスプレイに接続します。
13	KVM入力ポートグループ	4台のPCを同時にKVMに接続できます。 各グループには3つのHDMIポート (Input A/B/Cとマークされています) とUSBポートが含まれています。対応する入力デバイスにポートを接続して信号を入力します。

8. 接続説明

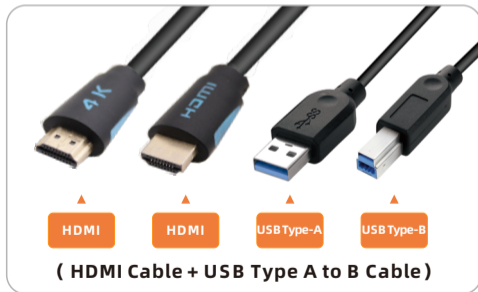
8.1 接続図



ヒント: この製品をより効果的にご使用いただくために、各KVM入力ポートグループのすべての3つの入力ポートを同じPCに接続することをお勧めします。

8.2 接続準備

- すべての接続が必要なデバイスを考慮して、接続前に十分な大きさの作業台を準備してください。
- 電源供給のレイアウトを容易にするために、ケーブルを適切に配置してください。多くの電源ソケットとプラグボードが接続に採用されるためです。
- 多くのケーブルが接続に使用されるため、異なるステッカーラベルを準備して、ケーブルにマークを付けてください。

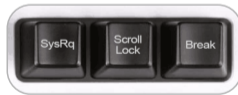


8.3 接続手順

1. PC 1を2本のHDMIケーブルと1本のKVMケーブルで接続してください。



2. PC 2~4も同じ方法で接続してください。
3. KVMのキーボードおよびマウスの入力ポートに外部のマウスとキーボードを接続してください。



ヒント: ホットキーを正常に使用するために、上記のように個別の[Scroll Lock]キーが付いたフルキーボードを使用することをお勧めします。

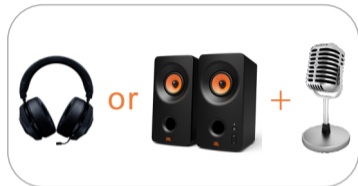
4. KVMの標準USB 3.0ポートにUSB 3.0デバイスを接続してください。



5. KVMのHDMI出力ポートを3つのHDMIケーブルで3つのHDMIディスプレイに接続してください。



6. 外部オーディオデバイスをKVMのL/R出力ポートに接続してください。



7. 1本のネットワークケーブルを使用し、片端をRJ45ポートに接続し、もう一方の端をスイッチまたはルーターに接続してください。



- 電源ケーブルをKVMのDC 12Vポートに接続し、電源ソケットに挿してください。



- ここまでは、接続が完了しました。電源を入れると、KVMスイッチが動作を開始します。

ヒント: 1. KVMのフロントパネルにある充電用USBポートの詳細情報については、第9.3章をご参照ください。
2. デフォルトでは、パッケージにネットワークケーブルは含まれていません。
3. KVMの使用方法の詳細については、第10章をご参照ください。

8.4 KVMワークベンチ

4X3 HDMI KVM スイッチとの接続が成功したワークベンチは次のとおりです:



9. 機能説明

9.1 ディスプレイモードの説明

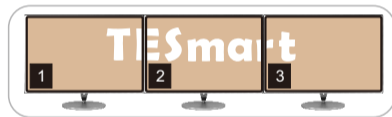
4x3 KVMスイッチは2つのディスプレイモードをサポートしています。3画面の拡張ディスプレイ、またはディスプレイの複製、または3つのモニターで異なるPCを表示することができます。

ディスプレイモード 1:

3つのディスプレイを複製



3つのディスプレイを拡張



ヒント：現在選択されているPCのディスプレイ設定で、複製モードまたは拡張モードを設定できます。

ディスプレイモード2: 3つのモニターで異なるPCを表示



このモードでは、KVMの各入力および出力ポートには文字が付いており、選択したPCの対応する文字のポートから対応する画面が出力されます。上記の図のように、Output Aに接続されたモニターから出力される画面は、PC 3のInput Aから出力され、Output Bの画面はPC 1のInput Bから出力され、Output Cの画面はPC 4のInput Cから出力されます。

異なるPCが異なるモニターに表示されている場合、異なるPC間でフォーカスを切り替えるには、右 [Alt]をダブルクリックします。

- ヒント： 1. 任意のPCが3つの画面を表示するように拡張されている場合、1つのメインディスプレイしかありません。切り替え時に特定の出力ポートに接続されたディスプレイに固定されます（どのディスプレイが主ディスプレイになるかはWindowsシステムで決まります）。他の出力ディスプレイにメインディスプレイを切り替える必要がある場合は、現在選択されているPCのディスプレイ設定でターゲットディスプレイを手動でメインディスプレイに変更する必要があります。
2. 異なるモード間の切り替え方法の詳細については、第10章を参照してください。

9.2 内蔵充電モジュール

4x3 KVMスイッチには、電話やタブレットなどの他のデバイスを充電できる内蔵充電モジュールが搭載されています。KVMの前面パネルにある2つのUSBポート（USB-AとUSB-Cのポートを含む）は、充電中にデータ転送をサポートしています。USBポートはBC 1.2プロトコルをサポートしており、充電デバイスの仕様に基づいて電圧と電流を自動で調整することができます。これにより、安全な充電が可能であり、損傷を防ぐことができます。



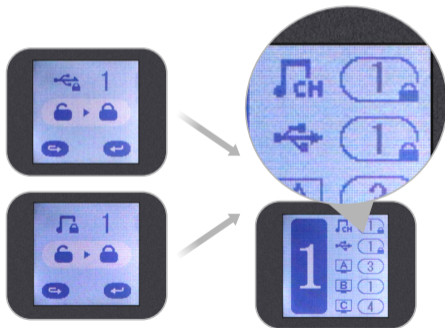
9.3 内蔵ネットワークスイッチ

4x3KVMスイッチには、標準のRJ45ポートを追加し、KVMに接続されているすべてのPCに組み込まれたUSB Ethernetアダプターが搭載されており、多くのネットワークケーブルなしでコンピューターをルーターやネットワークスイッチに有線で接続できます。高速で安定したデータ転送を可能とするフル100MbpsのEthernetは、多くの無線接続よりも信頼性が高くなります。たった1本のネットワークケーブルで、4つのPCに同時に有線ネットワーク接続を提供できます。



9.4 L/RオーディオとUSBのフォーカスをロックする機能

4x3 KVMスイッチは、L/RオーディオとUSB 3.0のフォーカスをロックする機能をサポートしています。ロックがオンになると、スイッチング時に現在のオーディオまたはUSBフォーカスを維持し、画面のみを切り替えることができます。オーディオフォーカスロックとUSB 3.0フォーカスロックは互いに独立しており、オーディオをロックしたり、USBを別々にロックしたりできます。オーディオまたはUSBのフォーカスロックを操作するには、フロントパネルのキーを押すだけで操作できます。



- ヒント:** 1. キーボードとマウスのフォーカスとUSBフォーカスは互いに独立しており、キーボードとマウスのフォーカスをロックすることはできません。ディスプレイモード2で異なる入力ソース間を切り替える際、キーボードとマウスのフォーカスは切り替えとともに変更されません。
2. KVMの電源がオフになると、ロック状態は自動的に解除されます。
3. オーディオまたはUSBのロック/ロック解除の詳細については、第10.1章を参照してください。

9.5 自動スキャンモードの説明

自動スキャン機能は、定期的な間隔でKVMに接続されていて電源がオンになっている入力デバイス間でディスプレイを自動的に切り替えます。その結果、各ポートに接続された任意の入力デバイスがユーザーの介入なしにモニターされます。自動スキャンモードはデフォルトではオフになっています。フロントパネルのキーパッド、キーボードのホットキー、赤外線リモコンなどを使用して自動スキャンモードをオンにすることができます。

自動スキャンモードをオンにした後、LCDのメインメニューインタフェースの左下に白い「SCAN」と表示されます。



ヒント: 1. 自動スキャンモードがオンになっている場合、現在のルーティング状態に関係なく、すべてのモニターは最初にPC 1を表示します。スキャン中は、PC 1から4の順に切り替えられ、すべてのディスプレイは切り替えごとに同じPCを表示します。

2. 詳細な自動スキャンモードのオン/オフ方法については、第10章を参照してください。











10. 操作方法

10.1 フロントパネルのボタンによる切り替え方法



フロントパネルのボタンや赤外線リモコンを使用してKVMを操作する際、LCDディスプレイは対象の操作を問い合わせ、その後、操作に従ってコマンドを実行します。上の図のLCDインターフェースはメインインターフェースです。

LCD インターフェイスとパネルアイコンの図解表です。

Icons	意味と機能
	モニターA、B、C.
	オーディオフォーカスアイコン：外部オーディオフォーカスが現在どのPCにあるかを示します。
	USBフォーカスアイコン：外部USB 2.0デバイスのフォーカスが現在どのPCにあるかを示します。
	キーボードおよびマウスフォーカスアイコン：キーボードとマウスのフォーカスが現在どのPCにあるかを示します。
	オーディオロックアイコンは、メインインターフェースの  アイコンの後ろの番号に対応するPCで現在のオーディオがロックされていることを示しています。
	USBロックアイコンは、メインインターフェースの  アイコンの後ろの番号に対応するPCで、現在のUSB 2.0デバイスがロックされていることを示しています。
	戻るボタン
	入力ボタン

**1~4 ボタン:**

1. 直接押して4つのPC間を切り替えます。切り替え後、3つのディスプレイは同時に選択したPCを表示します。つまり、ディスプレイモード1です。
2. 設定インターフェースでは、[4/↔] を押してメインインターフェースに戻ります。


**ディスプレイ選択ボタン:**

ボタンを直接押し、次にLCD画面の指示に従って[1-4]ボタンを押すと、選択したモニターが選択したPCを表示するようになります。つまり、ディスプレイモード2です。

ヒント: 例えば、'A-1'、'B-2'、'C-3'のようなコンボを押すと、PC1の'Input A'の画像がDisplay Aに表示され、PC2の'Input B'の画像がDisplay Bに表示され、PC3の'Input C'の画像がDisplay Bにすぐに表示されます。つまり、ディスプレイモード2です。IRリモコンの操作も同じです。



**オーディオロックボタン:**

1. [♪/←] ボタンを直接押してください、LCD画面の指示に従ってください、その後、[Set/←] ボタンを押して、L/Rオーディオを現在のPCにロックしてください。ロック後の任意の操作はロック状態を変更しません。ロックされた状態で再びキーを押してください。そして、[Set/←] ボタンを押して解除してください。

2. メニューや設定画面で、[/←] ボタンを押して次のページに進むか左を選択してください。



USBロックボタン:

1. 直接 [/↓] ボタンを押し、液晶画面の指示に従って操作し、その後[Set/←] ボタンを押して外部USB3.0デバイスを現在のPCにロックしてください。ロック後の操作は口、ク状態を変更しません。ロックされた状態で再度キーを押し、その後[Set/←] ボタンを押して解除してください。
2. 設定メニューで、[/↓] ボタンを押して下に択してください。



上を選択するボタン:

設定メニューで、[↑] ボタンを押して上に選択してください。



ロックボタ:

Lock/→

1. [Lock/→] ボタンを押してKVMをロックします。ロック後、すべてのディスプレイがオフになり、音声出力が一時停止され、液晶画面の明るさが最小限になり、すべてのボタンが無効になります。再度 [Lock/→] ボタンを押して液晶画面を点灯させ、その後パスワードを入力してロックを解除してください。
2. メニューや設定画面で、[Lock/→] ボタンを押してページを戻るか右に選択してください。

ヒント: 1. パスワードは設定メニューで変更できます。

2. パスワードを忘れた場合、工場出荷時の設定に戻してロックを解除できます。デフォルトのパスワードは1234です。[Lock /→] ボタンを約10秒間押し続けて工場出荷時の設定に戻してください。
3. KVMがロックされていると、IRリモコンやキーボードのホットキーは無効になります。

Set /← **設定ボタン:**

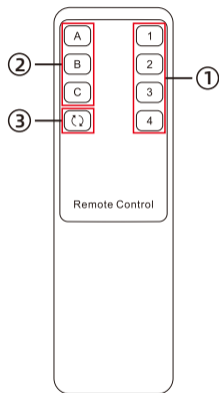


1. ボタンを押し、液晶画面の指示に従って、プリセットシーンの保存または読み込み、自動スキャンの有効化または無効化、自動スキャン時間の設定、ブザーの有効化または無効化、ホットキーのトリガーキーの設定、画面の明るさの調整、メニューでのパスワード変更を設定できます。各設定の下のさまざまなオプションを選択するには[←→]キーを使用してください。
2. メニューや設定画面で、[Set /←] ボタンを押して確認してください。

ヒント: パスワードを変更する際には、KVMのフロントパネルの数字1、2、3、4のみ使用できます。パスワードを空欄に設定して、パスワードなしでロックを解除することもできます。
2.パスワード変更画面では、[♪ /←] ボタンが戻るボタンとして使用されます。

ヒント: インターフェース内の設定状態は自動的に現在の設定と同期され、選択されたオプションは濃い色で表示されます。

10.2 IRリモコン



- ①—— 直接押して4つのPCの中から選択し、3つのディスプレイは同時に選択したPCを表示します。（つまり、ディスプレイモード1）
- ②—— キーを押し、次に[1~4]キーを押して選択したモニターに選択したPCを表示します。（つまり、ディスプレイモード2）
- ③—— 自動スキャンモードをオン/オフにします。

ヒント: IRリモコンを使用する際の操作は、フロントパネルのボタンを使用するのと同じです。ディスプレイモード2に切り替えるためのIRリモコンの使用方法については、28ページのヒントを参照してください。

10.3 キーボードのホットキー

→ 外部キーボードのホットキーを使用して入力ソースを切り替えたり、他の機能を設定したりします。

ヒント: キーボードのホットキーは、正しくKVMのキーボードとマウスの入力ポートに接続された外部キーボードでのみ機能します。

[Right-Ctrl] キーを2秒以内に2回押し、ブザーが1回鳴ると、3秒以内にコマンドを入力してください。その後、KVMは対応するコマンドを実行します。

前の入力ポートを選択します:

[Right-Ctrl]→**[Right-Ctrl]**→**[PgUp]**



次の入力ポートを選択します:

[Right-Ctrl]→**[Right-Ctrl]**→**[PgDn]**



ポート番号でポートを選択します (つまり、ディスプレイモード1):

[Right-Ctrl]→**[Right-Ctrl]**→**[1]~[4]**



異なるモニターで個別にPCを切り替えます（つまり、ディスプレイモード2）：

モニターA: [Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [←] → [1]~[4]



モニター B: [Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [↓] → [1]~[4]



モニター C: [Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [→] → [1]~[4]



ディスプレイモード2でフォーカスを切り替えます：

[Right-Alt] → [Right-Alt]



ディスプレイモード2でKVMに接続されたUSB 3.0デバイスを2つのPC間で切り替えます:

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [↑]



ディスプレイモード2で2つのPC間でオーディオフォーカスを切り替えます:

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [↓]



ブザー音を無効または有効にします:

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F11]



ヒント: ブザー音のデフォルト設定は有効です。ブザー音を無効または有効にするには、この手順を繰り返してください。

自動スキャンモードをオンにします:

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [Space]



ヒント: デフォルトの自動スキャン時間間隔は5秒です。LCDメニューで設定するか、次のページに示されている手順に従って時間間隔を変更できます。

自動スキャンの時間間隔を増減します：
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [+]/[-]



ヒント: このホットキーのコマンドは、自動スキャンモードが有効な場合のみ機能します。[Right-Ctrl] を2回押し、[+]/[-]キーを押しながら連続して時間間隔を調整します。1回の操作で1秒ずつ増減させます。

自動スキャンモードを終了するには、
[Esc]を押してください。



11. ホットキーの組み合わせの変更

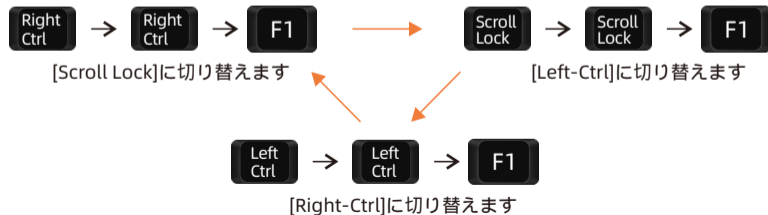
この製品には3種類のトリガーホットキーがあります。デフォルトは[Right Ctrl]キーで、代替として[Scroll Lock]および[Left Ctrl]キーがあります。他のホットキーに切り替える方法は次の通りです：

方法1：

- LCDメニューの設定からホットキーを変更します。[Set/←]キーを押し、「ホットキー」オプションを見つけて設定します。

方法2：

- キーボードのホットキーを押して、制御ホットキーを循環的に切り替えます。



12. パススルーモードの説明

12.1 パススルーモードの紹介

パススルーモードは、KVMの内蔵機能で、キーボードとマウスの互換性を向上させ、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。パススルーモードでは、キーボードとマウスは直接コンピューターに接続したのと同様です。この時、従来のKVMではサポートされていないより多くのキーボードやマウスの機能や特殊機能を使用することができます。

ヒント: 現在のバージョンでは、Bluetooth経由でのキーボードおよびマウスの接続はサポートされていません。

12.2 キーボードとマウスの互換性チャート

ヒント: 以下のリストは、実験室でテストされたキーボードとマウスの代表的なモデルから取得されており、主に市場で高いシェアを持つメーカーから提供されています。

ブランド	モデル	ブランド	モデル	ブランド	モデル	ブランド	モデル
Agio	WQ-641	Logitech	G510	Logitech	Marble Mouse	RAPOO	X220
Dell	KB212-B	Logitech	G710	Logitech	Mk540	RAZER	RZ01-0145
Dell	KB522	Logitech	G910	Logitech	Mx1100	RAZER	RC30-021203
Logitech	G105	Logitech	K400PLUS	Logitech	Mx518	Corsair	K55
Logitech	G500S	Logitech	K845	Microsoft	Wireless Desktop 2000	Corsair	K70LUX

TESmert TESmart

To Enjoy Smart

HK50403A1U

Tesla Elec Technology Co.,Ltd

CE FC   HDCP 

WEEE-Reg.-Nr. DE 66784279